

第5章 県民参加型環境教育・学習の推進

今日の環境問題は、生活排水による水質汚濁や自動車の利用増大による大気汚染・騒音、消費の拡大による廃棄物の増大など身近な問題から、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の問題まで、複雑多様化しており、これらの環境問題に対応するためには、県民一人一人が日常生活と環境との関係について理解と認識を深め、環境に配慮した責任ある行動をとることが不可欠と考えられる。

このため、家庭、学校、地域など多様な場で、それぞれ年齢階層に応じた環境教育・環境学習の推進が必要である。

第1節 学習機会の拡充

1 環境マイスター派遣事業

県民が自主的に環境学習に取り組む際の支援制度として、県内に在住する環境活動のリーダーや研究者など87人を専門分野別に「環境マイスター」として登録し、学校（保護者団体を含む。）、地域の環境活動グループ、自治・町内会、事業者団体等が学習会や講演会などを開催する場合に、マイスターを講師として派遣している。18年度の派遣実績は、43回であった。

- ・派遣先 地域環境活動グループ、学校（保護者団体含む。）、自治・町内会、その他各種団体等が行う環境学習会等で、県民を対象として、参加者が概ね20名以上で、政治、宗教及び営利を目的としないもの。
- ・申請等窓口 派遣を希望する団体等の受付や、派遣に適した環境マイスターの選定等は、愛媛県体験型環境学習センター（えひめエコ・ハウス）のエコライフ推進員が行う。
- ・登録内訳 事業系環境保全部門26人 生活環境保全部門21人 自然環境保全部門40人
- ・派遣経費 環境マイスターの派遣に要する経費（謝金）は、県が負担する。



環境マイスター活動状況

2 えひめ環境大学

環境関連の実務者や環境保全活動者などに、より高度な環境知識を修得してもらうため、学識経験者や環境分野の専門家を講師として迎え、専門的で質の高い講義内容の「えひめ環境大学」を実施した。平成18年度は、メインテーマを「化学物質問題の最前線」に設定し下記のとおり開催した。受講者は122人で、5回中4回以上の受講者には修了証書を交付した。

表 2 - 5 - 1 えひめ環境大学の開催実績

回	月 日	講 師	演 題
1	7月22日(土) 【13:30~16:00】	国立環境研究所 特別客員研究員 森田 昌敏	次世代の健康を守る 研究と政策の現状と課題
2	7月29日(土) 【14:30~17:00】	熊本学園大学 社会福祉学部教授 原田 正純	水俣からのメッセージ、水俣学が目指すもの
3	8月5日(土) 【13:30~16:00】	東京大学大学院 新領域創成科学研究科環 境システム学専攻助教授 吉永 淳	化学物質の低レベル胎児期暴露による小児への影響
4	8月19日(土) 【13:30~16:00】	ひらの亀戸ひまわり診療所 医師 名取 雄司	アスベスト その医学そして対策
5	9月2日(土) 【13:30~16:00】	愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼	残された二、三の課題と総合討論

3 生涯学習講座開設事業（コミュニティ・カレッジ：環境講座）

県民が、心の豊かさや教養を高め、また、実用的な知識や技術を習得するために、年齢、性別、職業を問わず気軽に学習できる場として、豊富な学習項目と質の高い内容を備えた講座を開催するコミュニティ・カレッジを、生涯学習センター、総合科学博物館及び歴史文化博物館において開設している。

「環境講座」は社会参画や現代社会の諸問題を解決していくための学習（教養・特別コース）の一つとして実施しており、平成18年度は「環境問題を身近な問題として学習し、より良い環境を次代に引き継ぐことを自分自身のこととして捉える」ことをテーマとして、表2-5-2～表2-5-4のとおり開催した。

表 2 - 5 - 2 環境講座（コミュニティ・カレッジ）の開催実績（生涯学習センター）

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H18.10.15	重信川の自然環境とはぐくむ会の活動	愛媛大学工学部 教授 矢田部龍一
H18.10.22	現地学習「えひめ森林公園」 里山の自然を楽しむ	松山東雲短期大学 教授 松井 宏光
H18.11.12	海のごみと環境改善 青く美しい海をとりもどすために	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課長 細谷 重勝
H18.11.26	瀬戸内海の環境とその長期変動	愛媛大学沿岸環境科学研究センター長 武岡 英隆
H18.12.10	環境地球 そして自分達のためにエネルギー の大切さを考えてみよう	愛媛県 環境マイスター 窪田 恕子
H18.12.24	河川の役割を知る	愛媛大学大学院 教授 鈴木 幸一
H19. 1.14	愛媛の鳥と哺乳類	愛媛県総合科学博物館 主任学芸員 山本 貴仁
H19. 1.28	地球温暖化と私どもの生活	愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼

表 2 - 5 - 3 環境講座（東予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（総合科学博物館）

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H18. 8. 5	環境市民活動と行政との協働	愛媛県環境マイスター 吉田 啓二
H18. 8.26	やさしい環境経営のすすめ	愛媛県環境マイスター 谷川 璋一
H18. 9.16	暮らしと省エネルギー	愛媛県環境マイスター 石塚 斐子
H18.10.21	愛媛の鳥と哺乳類	愛媛県総合科学博物館 主任学芸員 山本 貴仁
H18.11.11	愛媛の藻類よもやま話 ～海から田んぼまで～	愛媛県総合科学博物館 主任学芸員 小林 真吾
H18.12. 2	これからの環境問題	愛媛県環境創造センター 所長 立川 涼

表 2 - 5 - 4 環境講座（南予コミュニティ・カレッジ）の開催実績（歴史文化博物館）

年月日	内 容（テーマ）	講 師
H18.10.15	愛媛の海岸生物とその環境 絶滅の危機にある愛媛の海岸動物たち	愛媛県環境マイスター 須賀 秀夫
H18.11.12	いま地球のためにできること	愛媛県環境マイスター 藤本 豊實
H18.12.10	千年の森をつくる生き方	愛媛大学大学院農学研究科助教授 千年の森をつくる会会長 鶴見 武道
H18.12.24	節約すればエコになる	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサル タント協会会員 (愛媛県環境マイスター) 山口 章子
H19. 1. 7	重信川の自然再生と環境学習	愛媛大学工学部 教授 矢田部龍一
H19. 1.21	有機養蜂に向かった世界の動き	元玉川大学農学部長 酒井 哲夫
H19. 2. 4	地球温暖化の生物にあたる影響	愛媛県環境マイスター 林 弘
H19.2.18	瀬戸内海的环境とその長期変動	愛媛大学沿岸環境科学研究センター長 武岡 英隆

4 こどもエコクラブ事業

持続可能な社会を創るためには、21世紀を担う子ども達が将来に渡り環境を大切にすることを意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践していくことが必要であるため、環境省では、平成7年度から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子ども達の地域の中での主体的な環境の学習や実践活動を支援し、県では、その普及啓発を図っている。平成19年3月31日現在の登録数は、8市6町、59クラブで会員数1,685人である。

5 四国ジュニア環境教育推進事業

(1) 趣 旨

四国4県が連携して環境教育についての合同事業を実施することにより、海や山、川など先祖が守り引き継いできた四国の優れた環境を、四国4県の共通の財産として、相互に協力しながら、守り続けようとする意識や態度を子どもたちに育む。

(2) 事業内容

環境教育連携協力校（以下「連携協力校」）への支援及び連携協力校の相互交流の促進

「四国ジュニア環境サミット」の開催

環境教育についての普及・啓発活動

その他、4県連携による環境教育の推進に関すること

(3) 環境教育連携協力校（平成18・19年度指定）について

目 的

小・中・高等学校20校（各県5校）の環境教育連携協力校を指定し、各校における環境学習についての研究実践を促すとともに、その成果を四国の各学校へ情報提供することにより、各県における環境教育の充実に資する。

県内環境教育連携協力校の研究テーマ

今治市立城東小学校

「知恵と工夫で取り組む地球温暖化対策」

松山市立立岩小学校

「自ら学び、自ら考え、共によりよく生きようとする児童の育成

～『総合的にはたらく力』をはぐくむ学習活動を通して～」

西条市立東予東中学校

「環境教育を通して郷土愛を培うとともに、様々な問題について学び解決を目指して実践する生徒の育成」

松野町立松野中学校

「知ろう・探ろう わが町松野

～自然や人の心を大切にし、心豊かで主体的に活動する生徒の育成～」

愛媛県立川之石高等学校

「広げよう“もったいない”の輪！」

研究内容

連携協力校は、地域や児童生徒の実態に応じ、次に掲げる学習に取り組んでいる。

生活環境（美化 水質 大気汚染 騒音 等）

自然環境（飼育栽培 生き物 森林 等）

地球環境（温暖化 酸性雨 等）

循環型社会（節電 節水 リサイクル ゴミ減量 等）

(4) 平成18年度「四国ジュニア環境サミット」の開催について

目 的

四国の環境についての現地研修会を行ったり、環境学習の実践発表をしたりすることにより、互いの交流を深め、四国の環境を守り続けようとする意識や態度の育成を図る。

開催時期 平成18年8月22日・23日

開催場所 高知県立幡多農業高等学校・トンボ自然公園

内 容

環境フォーラム（各校の発表）

体験学習（廃油石けんづくり・乳牛の消化生理についての体験・トンボ公園見学）

第2節 多様な環境情報の収集と提供

1 えひめの環境ホームページ

本県の環境情報を県民に広く提供するために、「えひめの環境ホームページ」を平成15年3月に、より見やすくリニューアルした。このホームページでは、環境施策全般に関するお知らせ、環境白書、環境関係条例、要綱、環境影響評価等の情報を提供し、随時、内容の更新を行っており、様々な環境情報を見ることができる。



URL <http://www.pref.ehime.jp/kankyou/k-hp/index.html>

2 愛媛県原子力情報ホームページ

県の放射線監視テレメータシステムで常時収集している伊方発電所周辺測定局の放射線データ（空間放射線線量率等）等を、リアルタイムで提供している。

また、伊方発電所の運転状況等の最新データ、伊方発電所の異常時通報連絡に係る県の報道発表資料、伊方原子力発電所環境安全管理委員会の開催状況等の原子力情報を、随時提供している。

URL <http://etelmtsv.pref.ehime.jp/>

3 えひめの循環型社会づくりホームページ

県内における廃棄物の減量化・リサイクルに関する取組を促進するため、3Rイベント・グループ及びリサイクル製品の紹介や循環資源交換情報などを盛り込んだ「えひめの循環型社会づくり」ホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/140junkanshakai/00004731040517/index.html>

4 愛媛県バイオマスのホームページ

環境先進県を目指す県では、えひめバイオマス利活用マスタープランを策定し、大気中の二酸化炭素を増加させず、持続的に再生可能な資源であるバイオマス資源の利活用に積極的に取り組んでいる。

この県の取組を紹介するため「愛媛県バイオマス」のホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL <http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00007099050804/biomain.htm>

5 PRTR（化学物質排出把握管理促進法）のホームページ

化学物質は便利で快適な生活になくしてはならないものであるが、それが環境に派出されたときに人の健康や生態系にどのような影響を及ぼすのかまだよく分かっていないものがある。そこで、どんな化学物質がどこからどれだけ大気や水域に排出されているのかを把握する仕組みとしてPRTRが作られた。

このP R T Rの制度の紹介や過去の集計掲載した「P R T R（化学物質排出把握管理促進法）」のホームページを作成し、広く県民に情報提供している。

URL [http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/
060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm](http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm)

6 えひめ環境家計簿ホームページ

家庭から排出される二酸化炭素の量が簡単に計算できる環境家計簿や省エネ診断、エコライフのアイデアBANKなどをホームページへ掲載し、情報提供している。

URL [http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/010kenminkouryu/
00006193050309/index.html](http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/010kenminkouryu/00006193050309/index.html)

第3節 環境保全意識の高揚

1 環境啓発ポスターコンクール

環境意識啓発用ポスターを小中学生、高校生を対象に募集し、優秀作品を地球温暖化防止フェスティバルや環境白書等へ掲示し、県民の環境意識の高揚を図った。

- ・ 募集対象 県内小学生・中学生・高校生
- ・ 募集期間 平成18年6月19日(月)～平成18年9月15日(金)
- ・ 応募点数 1002点(小学生581点、中学生323点、高校生98点)
- ・ 金賞 3点(小学生1点、中学生1点、高校生1点)
- ・ 銀賞 6点(小学生2点、中学生2点、高校生2点)
- ・ 銅賞 9点(小学生3点、中学生3点、高校生3点)
- ・ 佳作 12点(小学生6点、中学生3点、高校生3点)

2 クリーン愛媛運動

- ・ 目的 豊かな自然と風土に恵まれたふるさと愛媛の住みよい快適な生活環境を創造する。
- ・ 運動内容 昭和52年度から7月をクリーン愛媛運動強調月間、また、国が定めた環境衛生週間(9月24日～10月1日)中を秋のクリーン愛媛運動実施週間とし、県民意識の啓発と県民総参加による河川、海岸、道路、公園等公共施設などの清掃美化活動を展開しており、平成18年度は、延べ約27万3000人の県民の参加を得て環境美化活動を実施した。

3 えひめ環境賞顕彰事業

環境先進県えひめを目指す愛媛県では、平成16年度にえひめ環境賞を創設し、地域の住民、団体及び企業が自主的かつ主体的に取り組んでいる、18年度も環境保全活動及び環境創造活動、環境保全及び環境創造の意欲の増進並びに環境教育に貢献のあったものを表彰し、県民全体の環境に対する保全及び創造の意識の醸成を図った。

表彰の対象 地域の環境保全及び環境創造活動に貢献のあったもの

地域の環境保全及び環境創造活動の意欲の増進に貢献のあったもの

地域の環境教育に貢献のあったもの

平成18年度の受賞者 ・えひめ千年の森をつくる会(会長 鶴見 武道)

・さんきら自然塾 (代表 水本 孝志)

・竹林をよくする会 (代表 前 弘之)



(左) 表彰式(左端から、水本孝志氏、鶴見恵子氏、鶴見武道氏、知事、前弘之氏

(右) 知事から表彰を受ける受賞者

4 自然保護思想の普及啓発

県内のすぐれた自然を県民共通の財産として守り、育て、次の世代に引き継いでいくために、自然保護思想の普及啓発に努めている。

愛鳥ポスターコンクール

愛鳥週間（5月10日～16日）を機会に、広く県下の児童及び生徒から愛鳥週間用ポスター原画を募集し、その製作過程を通じて野生鳥類について保護思想を高めるとともに、一般県民への普及、啓発を図るため、愛鳥ポスターコンクールを実施しており、平成18年度の応募及び表彰状況は次のとおりである。

・ 応募者数 247名（47校）

（内訳）小学校： 87人（22校）

中学校： 114人（19校）

高等学校： 46人（6校）

・ 入選者数

金賞（知事賞）： 9点（小学校3、中学校3、高等学校3）

銀賞（愛媛県自然保護協会会長賞）10点（小学校5、中学校3、高等学校2）

銅賞（ " ）10点（小学校7、中学校1、高等学校2）

佳作（ " ）10点（小学校6、中学校3、高等学校1）

5 省資源・省エネルギー運動の推進

内閣府国民生活局からの「夏季（冬季）の省エネルギー対策について」（省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定）の通知を受け、各種団体の代表である愛媛県省エネルギー運動県民会議の委員を通じて、会員等へ周知徹底し、省エネルギー意識の啓発と実践促進を図った。

また、省エネルギー月間である2月に、広報紙へ掲載することにより、省エネルギー意識の啓発と実践促進を図った。

6 くらしの中の省資源問題啓発事業

省資源・省エネルギー・リサイクル運動について、効果的な意識啓発や生活に根ざした実効性の高い運動を展開するため、省資源に関する講習会や資源の再利用講習会等を開催し、省資源についての意識啓発を行った。

・ 委託先 えひめ消費生活センター友の会

・ 実施状況 省資源に関する講習会・資源の再利用講習会・展示会等 8回（松山市他）

7 環境にやさしい買い物運動の推進

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を10月に実施し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図った。